

令和 8年 7月 30日

美郷町議会議長 原 克 美 様

美郷町議会議員 瀬 古 航 也



政 務 活 動 研 究 報 告 に つ い て

美郷町議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条の規定に基づき、別紙のとおり関係書類を添えて報告いたします。

記

【 提出書類等 】

1. 政務活動研究報告書（様式第7号その2） 1部
2. 領収書等証票類 1式
3. 視察等復命書（視察・研修会・会議等に政務活動費を要した場合）
1式

令和 8年 7月30日

政務活動研究報告書

美郷町議会議員 瀬 古 航 也



支出内訳

単位：円

科 目	金 額	備 考
調 査 旅 費 及び研修費	11,900	研修参加費・旅費 11,900 円
資 料 作 成 及び購入費		
広 報 費		
事 務 費		
要請・陳情 活 動 費		
そ の 他 の 経 費		
そ の 他 の 経 費		
そ の 他 の 経 費		
そ の 他 の 経 費		

【調査旅費及び研修費】

1. 研修会参加旅費 (①+②)	9, 9 0 0 円
① 私有車借り上げ料	8, 4 0 0 円
4 0 円×1 0 5 km×2 (往復) = 8, 4 0 0 円	
自宅 ~ 研修会場 (リファレンス広島小町ビルB 1 F) 間	
	1 0 5 km
単価 4 0 円/km (旅費規程準用)	
② 高速料金	1, 5 0 0 円
高田 I C ~ 五日市 I C	
1, 5 0 0 円×1 (片道) = 1, 5 0 0 円	
2. 研修会受講料 (地方議員研究会)	2, 0 0 0 円
合計 (1 + 2)	1 1, 9 0 0 円

領収証

2026 年 5 月 12 日

瀬古航也 様



¥2,000

但

2026/5/12(広島)杉本先生 議会制度と質問の作り方×財政の見方

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区清瀬4-29-28

TEL 050-1089-9835



提出日：2026 年 6 月 30 日

報告者：瀬古 航也



復 命 書

1. 研修・セミナーの概要

5 月 12 日 広島県広島市リファレンス広島小町ビル

件名：議会制度と質問の作り方×財政の見方

2. 目的

二元代表制における議員の役割と責任を改めて深く理解し、住民の皆様の声を政策に反映させるための「質問力」や「予算・決算のチェック能力」を高める。

特に、形だけに終わらない効果的な質問の組み立て方、予算書に頼らないリアルな財政資料の読み解き方、時代に合わせたデジタルツール（AI やタブレット）

の活用法、そして不合理な議会ルールの見直しについて先進事例を学び、美郷町の町政発展とチェック機能の強化に活かすことを目的とする。

3. 研修内容

① 住民の暮らしを変える「質問設計」の進め方

「質問すること」を目標にしないこと。議員の本来の使命は、住民の福祉と利便

性を高めることである。毎回質問に立つこと自体が目的（パフォーマンス）になっ
ては意味がない。「この質問で、住民の誰の生活がどう良くなるのか」という
明確なゴール（成果）を持った質問設計が不可欠である。

行政を動かす論理的なアプローチを持つこと。単に「～をしてください」と要望
（仮説）をぶつけるだけでは、行政から「前向きに調査研究します」といった曖
昧な答弁でかわされやすい。成果を出すには、「町のあるべき姿を確認するデー
タや住民の声で現状を突きつける理想と現実のズレ（矛盾）を指摘する具体的な
解決策を提案する」という論理的なステップを踏むことが重要である。また、質
疑の冒頭で「連携」や「子ども」といった重要ワードの定義をはっきりと共有し、
議事録に残して議論のズレを防ぐ技術を学んだ。

② 苦手意識をなくす「財政・決算」のチェック法

予算書・決算書以外の資料に目を向ける。分厚い予算書、決算書を見るだけでは、
事業の本当の中身は見えてこない。職員が実際に現場の管理で使っている「事業
別シート（財務会計システムのデータ）」や、過去 3 年分ほどの「監査意見書」
を読み解く方が、その自治体が抱える課題を最短距離で、リアルに掴むことがで
きる。

また、AI の議会に導入されているタブレット端末を、単なる資料閲覧の「飾り」
で終わらせてはならない。AI を活用した他自治体事例のスピード要約や比較分

析、論点の洗い出しなどに一步踏み込んで活用し、調査のスピードと審議の質を大幅に向上させる。

③ 議会運営の効率化と「隠れた無駄」へのチェックの目

前例踏襲のルールを疑う意識が必要である。議会内の慣習（例：スマホの持ち込み制限や、物理的なくじ引きのための本人出席の義務化など）について、「昔からの決まりだから」と鵜呑みにせず、条例や規則などの明確な文字ベースの根拠があるかを確認する。時代に合わない不合理なローカルルールは、積極的に見直しを求めているべきである。

行政の事務ミスや不正を追及する際は、担当者の個人攻撃に終始するのではなく、再発防止策、職場環境、人員配置、ダブルチェック体制といった「組織の仕組みや構造」に焦点を当てて質疑を行う。また、通勤・住居手当の適正なチェックプロセスや、物価高対策などの商品券事業における印刷・事務手数料が特定の業者に集中していないかなど、税金運用の透明性を厳しく検証する。

④ 今、取り組むべき個別政策のトレンド

各種給付金や給食費無償化を条例で実施するためのポイント、利率改善による効果的な基金（貯金）の運用方法、総務省の費用負担で外部専門家を招く制度の活用、国の基準変更に伴う旅費条例（宿泊費の実費との乖離）の速やかな見直しなど、これからの地方自治体に求められる具体的な政策論点を網羅的に習得

した。

4. 美郷町政への還元および今後の活動方針

①今回の研修で得た知見を、日々の議員活動や本会議・委員会での審議に以下のように反映させ、美郷町の発展に貢献する。背景説明などの長すぎる前置きを削り、「いつ・誰が・どうやって・なぜ」をクリアにした、端的な原稿作りを徹底する。また、一般質問で一度聞いて終わりにするのではなく、9月の決算委員会や3月の予算委員会でも同じテーマを追い続け、行政の対応が実際に変わるまで粘り強くウォッチする。また、町が保有する基金が、より有利で安全な形で運用されているか（残高や利率、方針など）を調査する。また、過去3年分の監査意見書をしっかりと読み込み、これまでの指摘事項がきちんと改善されているかをチェックする。

② AI・検索ツールを取り入れた迅速な調査研究

他自治体の議事録やSNS、公開データの中から「優れた取り組み」をAI等を使って効率的にピックアップし、美郷町の規模や特性に合う形にカスタマイズ（転用）して政策提案を行う。

③ 議会や行政手続きの効率化・適正化の提案

美郷町の議会ルールに非効率な点がないか点検するとともに、行政の手当支給

の確認プロセス、委託業務のコスト内訳などが適切かを精査し、必要に応じて

「よりガラス張りで効率的な仕組み」への改善を促していく。

以上

\\新人議員の最短知識/ 議会制度と質問の作り方 × 財政の見方

動画郵送
サービス無し

特別価格
1日通し **5000円** / 町村議会は
特別価格 **2000円**

5/ **広島**
12 火

5/ **京都**
13 水

5/ **松山**
19 火

5/ **博多**
25 月

午前
の部 10:00 ▶ 12:30

初参加でも安心：議会の流れと質問づくりの手順

1. 議会の全体像：議員の仕事と議会の仕組み
2. 新人が最初に押さえるルール：会議規則はローカルルール
3. 一般質問の“役割”：何のために質問するのか（目的の置き方）
4. テーマの決め方：住民ニーズ・行政課題から選ぶコツ
5. 質問の組み立て手順：間違いだらけの質問から卒業を
6. 質問のために必要な資料、これを押さえてから質問づくり
7. やりがちな失敗回避：通らない質問や現状を聞く無駄質問など質問のNG例



地方議員研究会事務局長

講師

杉本 康介

すぎもと こうすけ

午後
の部 13:30 ▶ 16:00

財政の基礎を学び、財政の苦手意識を無くす研修

1. 財政の全体像：予算→執行→決算の流れをつかむ
2. 地方財政をやさしく整理：全体と地方交付税の仕組み
3. 予算決算の読み方：まず見るべき「ここだけ」チェックポイント
4. 決算カードの読み方：決算から見える“実態”のつかみ方
5. なぜ財政が苦手になるか：職員や先輩議員も財政は苦手？
6. ムダ削減→政策提案：批判で終わらせない“つなげ方”
7. 財政質問の基本：比較と自治体独自の施策

1980年、大阪府生まれ。
大阪市立大学大学院修了。行政評価制度と幸福度について研究。
国家公務員を10年勤務後、全国の自治体を対象に議会制度や財政について講演、地方議員研究会設立に携わり、設立当初から各セミナーの企画立案、講師の招聘などセミナー事業全ての責任者。
また過去のセミナーの各会場で休み時間に財政やRESASミニ講座をしている関西弁のスタッフ。